

Rotary International District 2800

# 山形西ロータリークラブ会報

会長：遠藤 靖彦 幹事：武田 良和

地区目標

ロータリーにもっと誇りを  
そして学び DEIの心を持って行動実践しよう

クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！

◆点鐘：遠藤 靖彦 会長

◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ

◆司会：角田浩二郎 S.A.A.

◆会場：山形グランドホテル



第3034回例会

令和6年12月2日(月)

## 会長あいさつ

遠藤 靖彦 会長



先週、27日にファイアースイドミーティング、そして西山会というものが開催されました。入会間もない方、そして県外から来られた方の集まりとしてやっております。今年も3回ほど開催をする予定になっておりますので、よろしくお願い申し上げたいと思います。

今回のファイアースイドでは、武田周治さんに講師をいただきまして、いろいろ西ロータリーの歴史、そしてロータリーとして学ぶことというような内容でお話をいただいております。

さて、私のグループで公益財団法人エンドー学事振興会というような財団を運営しております。これはうちの父、遠藤栄次郎が民間では初めてになりますが、体育協会の会長になるという時に財団を設立して県内のスポーツ、そして学事、そういうものに貢献をしたいということで、グループ各社からお金を持ち寄って8,000万円という予算で財団を設立しました。基本的には学事関連の著名、貢献をされた、県内のいろんな活躍をされたところを助成するというふうな考え方ではありますが、どちらかというとスポーツ振興を中心に活躍をしたところに助成をさせていただくことでおこなっております。

設立したのが平成7年でして、平成26年に公益法人になって、現在まで各団体に支援をさせていただいております。今まで支援した団体が延べ187団体、7,634万円という金額になっております。今年、8団体を助成するというので約500万円という予算になっておりますので、それが終わりますと8,134万円の支援になります。最初のうちはその運営、財産の運用について利息とかそちらを主体にやっていたのですが、いろいろな運用を考えて、約300万円から500万円くらいの金額を1年間でいろいろな団体に支援しているという活動になります。こういう団体を設立する前から会社として、いろいろな団体への寄付してたりしました。遠藤栄次郎の考え方として、地域とともにの考え方のもとに地域貢献というものを重視してやろうという話があって活動をさせていただいた。元はと言えばロータリーの考え方に基づくんだなと思っております。

皆さん各社もいろいろな地域活動というものを進めていらっしゃると思います。ぜひロータリーの趣旨というものを改めて理解をいただいて、社会貢献活動、地域貢献活動にお力をいただければありがたいなと思っております。よろしく申し上げます。

## 幹事報告

武田 良和 幹事

- ロータリー財団寄付表彰ということで、寄付総額第3位の表彰が届いております。続いて米山奨学会より寄付総額第2位ということで西ロータリークラブに届いております。また、同じく米山奨学会より、個人平均寄付額第3位ということで届いております。
- 今月のロータリーレートはまだ届いておりません。次回の例会でご報告申し上げます。

## 委員会報告

### 親睦・家族委員会

会員8名、奥様が7名、12月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

## ニコニコ BOX

〈12月2日〉

### 遠藤靖彦会長／残念

昨日、明治大学対早稲田大学の関東のラグビーの優勝決定戦が国立競技場にて行われ、僅差で負けてしまいました。モンテディオの応援に行かず東京に行ってしまい申し訳ありません。

武田良和さん／いよいよ年次総会、そしてクリスマスへ今年も大詰めを迎え、身が引き締まる思いです。皆さま本日はよろしく申し上げます。

伊藤義彦さん／今年も無事、誕生を迎えることができました西ロータリークラブの創立記念日と同じ日が小生の誕生日ですが、今年も無事迎えることができました。大変うれしく名誉なことです。82回目です。

### ロータリー情報委員会／御礼

11月27日、第1回ファイアースイドミーティング&西山会が開催されました。入会3年未満の会員と、転勤で山形に来られた会員の方を対象に、武田周治さんに講話をいただき、その後、懇親をはかりました。参加された皆さまに感謝申し上げます。

# 年 次 総 会

**武田良和幹事**：それではただいまより、山形西ロータリークラブ年次総会を開会いたします。クラブ細則第5条第1節により、年次総会では次々年度の会長、次年度の副会長および理事、役員を選考を行います。それでは総会に先立ち、定足数の確認をお願いします。浦口委員、出席数の報告をお願いします。

**出席委員会浦口太門委員**：出席委員会の浦口でございます。本日の出席を報告させていただきます。会員総数108名、出席者数78名、クラブ細則第5条第3節により、会員総数の3分の1をもって本クラブ年次総会の定足数となっておりますので、本日のこの総会は成立することを報告申し上げます。以上です。

**武田良和幹事**：それでは総会の議長を、クラブ細則第4条第1節により遠藤会長をお願いします。

**遠藤靖彦会長**：それでは暫時の間、議長を務めさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

本クラブ細則第2条第2節の「選挙方法」により、「指名委員会および会長エレクトより指名を受けた候補者は、年次総会において投票に付せられ、出席した会員の過半数の同意をもって選任されます。ただし、出席した会員に異議がないときは、口頭による採決をもって、これに代えることができます」となっております。まずは選挙方法についてお諮りいたします。口頭による採決で行いたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。(拍手)ありがとうございます。

それでは指名委員会より指名を受けた候補者から行います。10月7日の指名委員会において次々年度会長候補者、富田浩志さん。そして次年度副会長、遠藤正明さんが指名され、クラブ細則にのっとり、10月28日の例会で発表いたしました。改めてお諮りをさせていただきます。次々年度会長候補者富田浩志さん、そして次年度副会長候補者遠藤正明さんです。皆さまご異議ございませんでしょうか。(拍手)全員一致で承認ということで議案のほうを進めさせていただきます。

次に五十嵐会長エレクトより、次年度幹事、会計および4名の理事の候補者を上程させていただきます。五十嵐会長エレクトよろしくをお願いします。

**五十嵐信会長エレクト**：では上程いたします。理事候補者として、半田稔さん、武田岳彦さん、渡辺隆博さん、酒巻雅樹さん。幹事予定者として武田秀和さん。会計候補者として及川善大さん。以上、上程いたします。よろしくをお願いします。

**遠藤靖彦会長**：ただいま五十嵐会長エレクトから次年度理事、役員候補者について上程がありました。皆さま、ご異議はございませんでしょうか。(拍手)ありがとうございます。

それでは早速、次年度理事会を開催し、次年度会場監督(S.A.A.)の選任をお願いします。次年度理事会メンバーは一旦会場の外にご移動をお願いします。暫時の間、理事会を開催しますので、皆さま、お待ちいただきたいと思っております。よろしくをお願いします。

.....

**遠藤靖彦会長**：それでは理事会が終了しましたので、S.A.A.の発表をお願いします。

**五十嵐信会長エレクト**：はい。S.A.A.は、武田元裕さんをお願いしたいと思います。

**遠藤靖彦会長**：それではこれで次年度の役員等々につきましての議案は終了させていただきます。続きまして定款第7条第2節に基づき、前年度決算報告と今年度決算の中間報告をお願いします。決算報告を原田久雄さん、お願いいたします。

**原田久雄前年度会計**：皆さんこんにちは。前年度会計を担当した原田でございます。前年度は、まず物価高騰のあおりを受けまして、例会費の会場使用料が上がったりとかイベントの飲食代が上がったりと、それと、また円安に振れてロータリーレートも上がったりと、なかなか厳しい状況でございました。また、コロナの5類移行から初めて始まった年度でございまして、通常例会もほぼフルにおこなって、そのほかにも事業活動をおこなってまいりました。また、10年ぶりに合同例会だったり、高知の歓迎例会だったり、なかなかイベントごとも多くて、厳しい予算を強いられた年度でございました。厳しい中、高知歓迎例会より受益者負担をお願いしたところ、皆さんに本当にご協力をいただきまして、そのおかげでなんとか着地をすることができました。この場を借りて御礼を申し上げます。ありがとうございます。引き続き今年度の会計にバトンタッチしましたので、よろしくお願いしたいと思います。以上でございます。

一般会計、収入の部。予算27,681,080円、決算27,704,621円。支出合計27,681,080円、決算額26,091,050円。差額1,613,571円と、これを次年度にお送りしたところでございます。

続きまして特別会計。収入合計が予算額は1,816,000円、決算額が2,182,501円。支出合計1,816,000円、決算額が2,174,600円。差額が7,901円となりました。会員の皆さんのニコニコ等も含めてご協力いただけたおかげで、無事決算を終えることができました。ありがとうございました。

**小野木健治今年度会計**：引き続きまして、今会計をさせていただきます。小野木でございます。よろしくお願いいたします。今会計の上期に関しましては、

先ほども原田前会計のほうからあったとおり、受益者負担のおかげで肅々と問題なく進んでおります。11月末の段階でも黒字で推移していますので、計画通り内容のほうは進んでおります。今後計画にないものが出てきた場合、理事メンバーとお話をしながらどうしていくかというところを考えながら、無事着地に向けてがんばっていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

**遠藤靖彦会長**：以上で議事を終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

## 次々年度会長挨拶



**富田浩志次々年度会長**

次々年度会長に選ばれました富田浩志でございます。ちょうど私の年度が西ロータリークラブ70周年記念という記念事業があって、大変そうだった大事な時に、節目にやらせていただくのに、私、未熟者ではございますが一生懸命尽力させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

東洋思想研究家の安岡正篤先生の言葉の中に、「縁尋機妙（えんじんきみょう）」、「多逢聖因（たほうしょういん）」という言葉があります。「縁尋機妙」というのは、良き縁がまた良き縁を呼び、そして「多逢聖因」はそういった仲間の中にいると良き方向に向かうという言葉で、有名な言葉ではありますが、まさしくこの「縁尋機妙」「多逢聖因」というのはロータリークラブに本当に共通するぴったりの言葉ではないかというふうに思います。先ほど遠藤靖彦会長のほうからもあったとおり、エンドー学事のほうの遠藤栄次郎さんが作られたものもまさしくロータリーの精神に基づいておりますし、また、われわれ皆さんが1人1人のそういった社会貢献、また職業奉仕のもとでがんばっているのが西ロータリークラブのこれからまさしく大きく発展する飛躍ではないかと思っております。山形県内で100名以上のメンバーを有するのは山形西ロータリークラブでありますし、いずれ110名になるというふうにも聞いておりますので、そういった皆さん方の力を結集してがんばっていただければ、ますます大きな西ロータリークラブが社会貢献できるのではないかと思います。そういったことに私も未熟ながらですが、がんばって協力させていただけると思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

なお、最後に、私のほうもいろいろと行ったり来たりが多くて、山形にいる時間も少ないのですが、皆さま方に多くのご協力とご指導、またご鞭撻を賜りますことを重ねてよろしくお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

## 次年度副会長挨拶



**遠藤正明次年度副会長**

今ほどはご承認を賜りまして誠にありがとうございました。歴史と伝統ある山形西ロータリーにおいては、私、入会してまだ10年目でございますので、知識も経験もまだまだ不足しているのではないかと感じております。次年度は五十嵐会長のもと学びの1年として、一生懸命勉強してまいりたいと考えているところでございます。

これからも引き続き、特に先輩方におかれましてはご指導のほどを心からお願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 次年度会長挨拶



**五十嵐信次年度会長**

皆さん、こんにちは。ご紹介いただきました五十嵐でございます。この場所に立つとやっぱりものすごく緊張します。あまり緊張しないように思われているんですけども、ここに立つとやっぱり手足は多少震えるんです。来年、会長という重責を負わせていただきます。チャンスをいただいた皆さんに心から感謝をいたします。

私が入会してもう22年になります。22年というと、やはりいろんな変化がありまして、私が生まれた1959年の22年前、やっと戦争が始まった頃ですから、この22年ってものすごく長い年月で、世の中の変化も大きかったということを今思っています。これから、私は69代としてやらせていただきますけれども、新たな70年代、70歳に向けてどういうふうなことをしていかなければいけないかと、自分がしたいことではなくて皆さんのために何ができるかということを生懸命考えながら、皆さんから力をお借りしながらいい年にしたいと思います。よろしくお願いいたします。

## ロータリー情報委員会より

### 武田岳彦ロータリー情報委員会委員長

ロータリー情報委員会の役目として、ロータリーに少し役に立つこととか、皆さんが学びを得るような、そんな情報をお伝えするというのが委員会の役割でございます。皆さまに少しでも役に立つことをお伝えしたいなと思います。

何をお話するといいいのかなというふうにいるいろいろ考えました。それで、「4つのテスト」の起源についてお話をさせていただきます。この4つのテストをなんで選んだかということ、私自身がちょっとおもしろいなと思ったからなんですけれども、入会してしばらくの間、私は4つのテストはロータリアンがロータリーのために考えた言葉だなと思っていたんですね。ただ、調べてみたらちょっとそこが違ってまして、実は4つのテストというのはもともとは「つぶれそうになった会社を立て直すために、その社員の心構えとして考えられた言葉であった」そうなんです。そして実際にそのつぶれそうになった会社を立て直して、業績を回復させた。そのために社員に守らせた倫理基準が4つのテストであったということです。その起源がそういった起源で、それをロータリーという組織が社会の中で生き残って存在価値を示す、高めるためにそれを取り入れて今現在世界中のロータリーで4つの言葉が唱えられていると。この辺のところに私は非常にいろんな学びが隠されているのではないかなというふうに思うわけです。そういった理由で選ばせていただきました。少し表現がわかりにくい文章なんですけれども、これから4つのテストの起源について書かれた文章を読ませていただきますのでお耳をお貸しいただければと思います。

4つのテストの起源について。ロータリーの基本理念として提唱されている中で、職業倫理の指針として短文でわかりやすいということから最も多く頻繁に引用されているのが4つのテストである。これはロータリーの標語のように国際大会の決議を経たものではなく、1人のロータリアンの草案によるものである。

1932年、92年前になりますけれども、シカゴクラブの会員ハーバート・テラー、この人は雑貨品の配達を商売にしていたそうですが、そのハーバート・テラーが、当時の経済恐慌のあおりで破産の危機に直面していた同じシカゴクラブのアルミニウム社、これはアルミ食器の製造販売をしていた会社だそうですが、これの経営を引き受けるように要請されて承諾しています。経営の危機をなんとか回復させてくれという依頼に応えたということです。当時、アルミ食器業界の現状は厳しくて、さらに優秀な同業者が数社あった。そういう中で経営難のこの会社を救う方法を模索していたテラー氏は、従業員全員が極めて倫理的な立場

を取らなければならぬというふう考えたのです。正義こそ力の源であると確信し、従業員が正しさに耳を傾け、それによって行動するよう管理運営ができれば万事業績はうまく回復していくという思いに至りました。会社にとって大事なことは、社内中の誰もが頭の中に収めて、そして対人関係での思考と言動に応用できるような座右の銘のようなものとして考案したのが4つのテストであると。従業員全員が仕事において守るべき倫理規程としてこの4つのテストを販売、生産、宣伝、業者、顧客関係における指針としました。

当初、銀行より6千ドルの借入れを起こし事業を始めましたが、5年後には元利合計全額を返済し、15年後には100万ドルの配当金を株主に対して支払うことができるようになった。この会社が倒産の難を逃れ、おおいに成長できたのは、それはこのシンプルな哲学に負うものであった。ハーバート・テラーは1939年度、シカゴクラブの会長に選任されましたが、たまたまシカゴの経済業界で4つのテストのことが話題になり、それを契機にこの話題がクラブに持ち込まれた。誰もが簡単に覚えられ、誰もが簡単に実践でき、そして信条のいかににかかわらず、グループの全員が精神的にも、また物質的にも幸せとなり得る座右の銘だということで、シカゴクラブのロータリアンによって倫理規定として採択された。これが契機になってロータリーの世界に浸透していった。

ちょっとこの辺もおもしろいなと思うんですけれども、例えば山形ロータリーが掲げたものを西ロータリーが採択するということは、今だったらあり得ないと思うんですけれども、いちシカゴロータリークラブの掲げた倫理規定が、それを周りのクラブも受け入れてそれが世界に広まっていったという、これがロータリーの発展期に起きたことなんだろうと思うけれども、良いものを取り入れるという姿勢というのは今のロータリーの存在につながっているのかなんていうことも私なりに感じたところです。

そして1954年度の国際ロータリー会長にテラー氏が就任した時、彼はこの4つのテストの著作権を国際ロータリーに移譲し、そしてターゲットの中にこれを掲げ、全世界のロータリアンに、これによって奉仕活動を行うように指導したというものである。

これが4つのテストの起源について話をされた内容なんですけれども、非常に継続性のある組織を作る上で何が大切なのかということを改めて私なりにおもしろいなというふう感じたので、皆さまにお伝えしました。ぜひ何かの参考にいただければ幸いです。以上でロータリー情報委員会からのお伝えする情報を終わります。ありがとうございます。

本日出席 (12 / 2)	会員総数	出席会員数
	108名	78名